

堺市基本計画 2025(案)についてのご意見の要旨と本市の考え方

番号	ご意見の要旨	市の考え方
Ⅰ. 計画策定について		
1	堺市長は、堺市として発展する基本計画を遵守し、市民のために市政運営にあたってもらいたい。 堺市長は、大阪府知事や大阪市長の下請けではないことを肝に銘じてもらいたい。	本市は、本計画に基づき政令指定都市としての最大の権限と財源を活かし、大阪府や大阪市をはじめとした他自治体との連携も図りながら、将来にわたって持続的に発展し、暮らしやすい都市をめざします。
2	この計画は堺市の根幹的な計画だと思うので、策定後には広報さかいに掲載してもらいたい。	広報さかいへの掲載については、紙面量の都合上、すべてを掲載することができませんが、いただいたご意見を踏まえ広報さかいへの掲載を検討します。また、本計画は、堺市ホームページへの掲載や市政情報センター、図書館への配架などにより市民の皆様へ公開します。
Ⅳ. 都市像について		
3	都市像である「未来を創るイノベティブ都市」とはどのような都市か。	本市は、古くから世界と交流し、多様な文化や価値観を受け入れ「ものの始まりなんでも堺」と謳われるほど、様々な新しいことにチャレンジし、イノベーションを生み出してきた都市です。 先人たちが生み出してきたイノベーション精神をもとに、時代の変化を的確に捉え、柔軟に対応しながら、変化を恐れず、果敢に挑戦・創造し続ける都市の姿として「未来を創るイノベティブ都市」としています。
4	第2回（仮称）次期堺市基本計画等策定検討懇話会において、市長が「イノベティブ都市という言葉が市民に響かないというご意見もあるので、このタイトルについては変更してもいい。市民と一緒にやっていこうと思ってもらえるようなものにしたい。」と発言したのにもかかわらず、結局変わっていない。他自治体のアンケート調査では、イノベーションは住民の望むまちとして最下位であったと懇話会委員の発言があった。住民に指示されない都市像を選び、市民に対して、上から目線の行政の押しつけ計画案になってしまったと思う。	第2回懇話会において、市長から都市像の表現の変更を検討する発言がありましたが、その後検討した結果、今後、人口減少、高齢化の進行など、より厳しい都市経営が予想される中、社会経済状況への柔軟な対応や、堺の持てるポテンシャルを活かした事業展開など、変化を恐れず果敢に挑戦・創造し続ける都市であることが堺市として重要と考え、都市像を「未来を創るイノベティブ都市」と設定しました。
3.空間像／エリア戦略		
5	交流ゾーンは、観光、商業などそれぞれの要素をすべて交流させるのか。環濠エリアと世界遺産、大仙公園エリアのような小さなくくりではなく、一緒に交流ゾーンとした方がよりいいと思う。さらに都心エリアとのつながりも大切ではないか。	交流ゾーンは、人々が訪れ様々な交流を創出するゾーンとして位置付けており、観光客だけではなく、働く人や学ぶ人など、様々な人の交流を生み出すゾーンとして設定しています。 国内外から多くの人を惹きつけ、都市魅力を創出するため、堺が持つポテンシャルを最大限に活かし、各エリアの都市機能や基盤を強化・充実し、エリア間の交流も生み出せるよう取り組みます。
4.計画の推進 (3) 戦略的広報の推進		
6	②「ターゲット」という表現は攻撃的・商業的に感じる。必要な人の声を拾いに行く努力も必要。	いただいたご意見を踏まえ、「対象者」に変更します。 効果的・効率的な広報のためには、市民ニーズの把握が重要と認識しています。そのことを意識しながら、広報を実施していきます。

堺市基本計画 2025(案)についてのご意見の要旨と本市の考え方

番号	ご意見の要旨	市の考え方
7	③「セグメント別」に情報が届けられることが大切。分かりやすい言葉にしてもらいたい。	いただいたご意見を踏まえ、「セグメント別に(個々に区分して)」に変更します。
4.計画の推進 (4) 利便性の高い区役所の実現		
8	オンライン化による行政手続きだけでなく、窓口での対応も重要ではないか。 手話通訳できる窓口担当者は1人しかおらず、いつも対応してもらえない。ろう者の相談を手話通訳を入れたオンラインでできないか。	行政手続きのオンライン化を進めることで、市役所等に来庁することなく行うことができる手続きを増やすだけでなく、窓口での対応が必要となる手続きについても、ICTの活用も視野に利便性の向上を図ることが重要だと考えています。今後も、行政手続きに係る利便性の向上を図るよう取り組みます。 また、聴覚障害者などの情報保障におけるオンラインの活用については、利用者のニーズなどを捉え利便性を高める取組を進めます。
V. 重点戦略の各施策		
重点戦略1堺の特色ある歴史文化 ～Legacy～		
9	(1)世界遺産「百舌鳥・古市古墳群」の継承と魅力の創出 「ガス気球」には、障害児者、車椅子の利用者も乗れるのか。手話通訳もあるのか。	車いす利用者をはじめ、障害者や子ども、高齢者など、多様な方が安全に利用できるように事業を進めています。
10	(3)類稀な堺の歴史文化資源を活かした戦略的な観光誘客の推進 「ナイトタイムエコノミー」とは何か。	ナイトタイムエコノミーとは、夜間の経済活動のことを言います。ご意見を踏まえ、用語集に追加します。本市では工場夜景ツアー、さかい利晶の杜でのナイトミュージアムやナイトマーケットの開催など、来訪者の滞在時間の増加に向けた取組を進めます。
11	(4)文化芸術の振興・国際交流の強化 堺市の「だんじり」、「ふとん太鼓」、「こおどり」、「すずめ踊り」など、市民に身近な文化・芸術も重んじてもらいたい。	「上神谷のこおどり」については、国選択・大阪府指定無形民俗文化財に指定されており、本市としても文化財の保存育成に努めています。「だんじり」、「ふとん太鼓」、「すずめ踊り」などの伝統文化については、国施策なども活用しながら、観光、まちづくりなど幅広い視点を通じて市民に身近な伝統文化として盛り上げていく必要があると考えています。 引き続き、(公社)堺観光コンベンション協会と連携して、パンフレット作成や広報さかい、ホームページなどにより積極的に堺市の伝統文化の魅力を発信します。
12	(4)文化芸術の振興・国際交流の強化 「堺アーツカウンシル」(堺芸術協議会)のように、意味がすぐに分かる表現にしてもらいたい。	いただいたご意見を参考に「文化芸術を用いて、子育て・教育・福祉といった様々な分野の社会的課題の解決をめざす組織である「堺アーツカウンシル」」に修正します。
13	(5)伝統産業のブランド力向上による活性化 ブランド化するにあたり、障害者優先調達推進法を用いて、障害者が作業できるようにしてほしい。	堺の伝統産業の確かな技術力、品質の高さをより多くの方に認知いただくために、伝統産業事業者の商品開発力の向上支援や販路開拓支援などに取り組むことで、伝統産業の活性化を推進します。 また、本市では、健康福祉プラザ内に授産活動支援センターを設置し、民間企業等からの依頼に対してのマッチングコーディネーターやホームページ等を活用した情報発信、授産活動に取り組む事業所への支援を行っています。

堺市基本計画 2025(案)についてのご意見の要旨と本市の考え方

番号	ご意見の要旨	市の考え方
		<p>加えて、障害者が製作した製品の販売促進として、公共施設等での定期的なバザーの実施などに取り組んでいます。今後も、販路拡大に向けた支援と市民の方に授産活動への理解を深めていきます。</p>
14	(6)自転車を活かした魅力の創出 自転車の普及にあたり「マナーの向上」に努めてもらいたい。	<p>本市では、自転車の交通ルールの遵守とマナーの向上を図るため、警察等の関係機関と連携した交通安全の啓発等を推進します。</p> <p>引き続き、自転車を利用する際のルールの周知やマナーの向上に努め、安全・安心に自転車利用ができるよう取組を推進します。</p>
15	類稀な歴史文化資源の価値を本当に理解しているのか、大いに疑問であり、まずは市長をはじめ、堺市の関係者が「堺の類稀な歴史文化資源」について真摯に勉強し理解することが基本ではないか。	<p>令和2年5月、国において文化観光推進法が制定され、文化観光（文化資源の観覧等を通じて文化についての理解を深めることを目的とする観光）を推進することとされました。</p> <p>堺市は同法に基づき「屋根のないミュージアム・堺 地域計画」を策定し、令和2年8月に国から認定を受けています。</p> <p>今後、文化観光を推進する本市の職員が堺の文化への理解を深めたうえで、堺の歴史文化資源を最大限活用した取組を進めます。</p>
16	(2)環濠エリア・堺旧港の魅力の創出 ②歴史的なまちなみ再生・歴史的建築物の保全 「堺市歴史的風致維持向上計画」の昨年度末の中間評価にも「今後の対応」として明記されている景観規制に対する取組が記載されていないが、施策に対して本気で取り組もうとしているのか。	<p>景観規制については、地域の住民の方々の合意形成のもと、地域にふさわしい景観形成に向けて取組を進めています。</p> <p>環濠エリアにおいては、良好な都市景観の創出と地域の魅力向上に向け、庁内連携のもと、歴史的なまちなみの形成と一体的に検討を進めます。</p>
17	(3)類稀な堺の歴史文化資源を活かした戦略的な観光誘客の推進 ①堺の歴史文化資源を活用した滞在、消費拡大促進 「市内各拠点エリアをつなぐ観光の仕掛けや周遊ルート of 構築などにより、回遊性を高める。」とあるが、行政が設定したルートが魅力的でなければ、観光客は利用しない。市職員が「堺の類稀な歴史文化」を知ることから始める必要があるのではないか。	<p>令和2年5月、国において文化観光推進法が制定され、文化観光（文化資源の観覧等を通じて文化についての理解を深めることを目的とする観光）を推進することとされました。</p> <p>堺市は同法に基づき「屋根のないミュージアム・堺 地域計画」を策定し、令和2年8月に国から認定を受けています。</p> <p>今後、文化観光を推進する本市の職員が堺の文化への理解を深めたうえで、堺の歴史文化資源を最大限活用した取組を進めます。</p>
18	世界遺産である古墳まで、路面電車を延伸し、より魅力ある街の骨格となるものを作ってほしい。	<p>大仙公園エリアや堺東駅、堺駅周辺など、市内各拠点エリアをつなぐ周遊ルートの構築など、回遊性を高める取組を進めるため、いただいたご意見を参考にさせていただきます。</p>
重点戦略2.人生100年時代の健康福祉～Well-being～		
19	(1)健康で長生きできる都市の実現 「病気でも、障害があっても、堺市ならいきいきと暮らせる」ことが大切ではないか。	<p>ご意見のとおり、病気でも障害があってもいきいきと暮らせることが大切であると考えています。</p> <p>本市では、堺市健康増進計画「健康さかい21（第2次）2019-2023計画」で「健康とは、住み、働き、学び、遊び、憩い、暮らしの中でいきいきと充実した人生を過ごせること」としており、病気や障害があっても、いきいきと自分</p>

堺市基本計画 2025(案)についてのご意見の要旨と本市の考え方

番号	ご意見の要旨	市の考え方
		<p>らしく元気に過ごし、家族や友人、地域のひとともに気づかい支えあえるまちをめざしています。</p> <p>また、平成30年10月に施行した「堺市超高齢社会に対応するための地域包括ケアシステムの推進に関する条例」においても、その前文に、「高齢者が尊厳をもって人生の最期まで自分らしくくらし続けるために」ということを掲げています。</p>
20	<p>(1)健康で長生きできる都市の実現 ①健やかな生活習慣の形成 「健康に無関心な市民に対し」の表現は失礼ではないか。一人一人の事情を押し量ることなく無関心と決めつけるべきではない。</p>	<p>ご意見のとおり、ライフステージや個人の健康課題にあわせた適切な情報の提供は、健康に対する関心の有無によって異なるものではないため、同表現については削除し、「市民の健康への関心を高めるため、ライフステージや個人の健康課題にあわせた適切な情報が提供できるよう、アプリなどを用いた仕組みを構築する。」に変更します。</p>
21	<p>(1)健康で長生きできる都市の実現 ①健やかな生活習慣の形成 生活習慣に「口腔ケア」を加えてもらいたい。</p>	<p>健康寿命の延伸に向け、健康の増進を形成する基本的要素である栄養・食生活、身体活動・運動、こころの健康、アルコール、歯と口の健康について、よりよい生活習慣の形成が重要であることから、ご意見を踏まえ、「適切な食生活」の後に「口腔ケア」を追加し、「適切な食生活や口腔ケア、適度な運動、十分な休養、禁煙」に変更します。</p>
22	<p>(1)健康で長生きできる都市の実現 ②生活習慣病の発症予防・重症化の予防 「ナッジ」をわざわざ出す必要があるのか。</p>	<p>ご意見のとおり、国が推奨する行動科学の知見の一例としてナッジ理論が示されていることから、記載していた「ナッジなどの」を削除します。</p>
23	<p>(2)かかりつけ医から高度医療までつながる地域医療体制の充実 ①地域医療体制の充実 堺市立総合医療センターの医師不在で、大阪市内など遠方に通院する状況がある。堺市内で通院できるようにしてもらいたい。</p>	<p>堺市立総合医療センターにおいては、専門医の確保に努めていますが、専門性が高い医療については、専門医が少数であることもあり、医師の確保が難しい場合があります。このため、一つの医療機関で担えない医療は、他の医療機関との連携により提供できるよう地域医療連携を推進しています。</p>
24	<p>(3)市民の参加と協働による地域福祉の充実 高齢者・乳幼児だけでなく、障害者児も含めた小・中学校の児童生徒とその親が交流し、理解しあえるようにしてもらいたい。</p>	<p>各小学校区単位で活動している校区福祉委員会による取組の一環として、地域会館や学校等の地域拠点に集まり、高齢者と子どもが歌やゲーム、昔遊びなどを通じて交流を図る「世代間交流」を行っています。</p> <p>また、地域包括ケアシステムの推進など市の重要な施策の理解を図っていく上では、あらゆる世代に働きかけを行っていくことが重要と考えており、子ども向けのリーフレットの作成など、対象世代に応じた効果的な啓発に努めます。</p>
25	<p>(3)市民の参加と協働による地域福祉の充実 ①包括的な相談支援体制の構築 「精神障害者にも対応した地域包括ケアシステム」の推進にあたって、どの窓口で相談しても必要な支援に繋がるワンストップの整備は不可欠であり、その人材育成も</p>	<p>複合的な課題を抱える世帯に対しては、高齢者の相談窓口である地域包括支援センターのほか、障害、子どもの相談窓口が連携して支援しています。</p> <p>また、包括的な相談支援体制の構築に向け、複合的な生活課題に対応できる職員を育成する</p>

堺市基本計画 2025(案)についてのご意見の要旨と本市の考え方

番号	ご意見の要旨	市の考え方
	重要ではないか。	ため、担当分野を横断する知識やスキルを習得できる研修等を検討しています。
26	(3)市民の参加と協働による地域福祉の充実 「④面的・一体的なバリアフリー化の推進」について、利用しやすい値段設定が必要ではないか。	(公共交通の料金に関する意見として回答) 公共交通機関の料金については、国及び事業者が適切な運営に向けて設定しています。ご意見については、事業者等関係機関と共有します。
27	(3)市民の参加と協働による地域福祉の充実 「④面的・一体的なバリアフリー化の推進」はソフト、ハード両面の社会基盤整備を表しており、「(4)高齢者が住み慣れた地域で心豊かに暮らし続けられる社会の実現」に該当するのではないではないか。 (4)高齢者が住み慣れた地域で心豊かに暮らし続けられる社会の実現の「⑥高齢者の社会参加と生きがい創出の支援」は、『元気高齢者』の社会参加と社会貢献を表しており「(3)市民の参加と協働による地域福祉の充実」に該当するのではないか。	(3)「市民の参加と協働による地域福祉の充実」の現状・課題のひとつとして、高齢者だけでなく障害者の方等を含むすべての方が安全で快適に移動しやすい空間整備を推進する必要があります。そのため、すべての方が参画できる地域社会の実現をめざすために、【面的・一体的なバリアフリー化の推進】2-(3)-④を(3)の施策に位置付けています。 (4)「高齢者が住み慣れた地域で心豊かに暮らし続けられる社会の実現」の取組の一つである【高齢者の社会参加と生きがい創出の支援】2-(4)-⑥については、ご意見にもあるとおり、(3)「市民の参加と協働による地域福祉の充実」に含まれる施策でもありますが、高齢者に特化した取組であることから、(4)の施策に位置付けています。 (3)と(4)の施策は密接に関連する施策ですので、総合的に推進します。
28	(4)高齢者が住み慣れた地域で心豊かに暮らし続けられる社会の実現 ダブルケアだけではなく、トリプルケア、老障介護、障老介護、ヤングケアラーもあり、実態を把握してほしい。	堺市では、他の自治体に先駆け、ダブルケアの実態を把握するため、平成28年度に介護離職に関するアンケート調査とニーズ調査を行い、平成28年10月に、全国初の取組みとしてダブルケアの方を対象とした相談窓口を各区役所の基幹型包括支援センターに設置しました。ダブルケア世帯以外の複合的な課題を抱える世帯に対しても、高齢や障害、子どもの相談窓口が連携して支援に取り組みます。
29	(5)障害者が生きがいを持って心豊かに暮らせる社会の実現 医ケア児だけでなく、医ケアが必要な大人への支援体制も整えてもらいたい。	本市では、医療的ケアが必要な方がいる家庭に対し看護師を派遣し、医療的ケアが必要な重症心身障害者を多数受け入れている生活介護事業所に対し看護職員を加配するために要する経費に補助を行うなど、18歳以上の医療的ケアが必要な方への支援に取り組んでいます。 また、令和3年度からは、子ども青少年局が所管する障害児支援事務を障害福祉部に統合し、児童から成人までのライフステージに応じた途切れのない障害者支援を効果的かつ効率的に取り組んでいます。
30	(5)障害者が生きがいを持って心豊かに暮らせる社会の実現 ②障害者の暮らしの場の確保 グループホームの推進は良いが、終の棲家ではない。障害者の特別養護老人ホームが必要と把握し、整備することを計画に入れてほしい。	特別養護老人ホームは、65歳以上で要介護3から5の認定を受けている方などを対象としている施設であり、障害の有無に関わらず入所することができます。整備については、利用者見込みに応じた整備数を介護保険事業計画に定め整備を進めます。 また、障害者の高齢化・重度化が進んでも、住み慣れた地域で安心して暮らせるよう、グル

堺市基本計画 2025(案)についてのご意見の要旨と本市の考え方

番号	ご意見の要旨	市の考え方
		ープホームを中心とした暮らしの場の整備を推進します。
31	(5)障害者が生きがいを持って心豊かに暮らせる社会の実現 ③障害者の社会参加の促進 社会参加に必要な移動に対する支援として、タクシーチケットの利用、バス代1回100円、ガイドヘルパーの増加を計画に入れてほしい。	本計画では、障害者の社会参加を促進する取組の方向性として主要なものを掲載しています。障害者の外出支援サービスが重要であることは認識しており、いただいたご意見を参考に社会参加の促進を進めます。
32	(5)障害者が生きがいを持って心豊かに暮らせる社会の実現 KPI「福祉施設から一般就労への移行者数」のほかに、移行後に戻ったり辞めたりする人は把握しないのか。グループホーム・入所施設待機者数を把握し、どれだけ移行しているのかを示してもらいたい。	障害者が住み慣れた地域の中で、自らの意思で自立した生活を送るためには、就労によって経済的な基盤を確立することが重要な要素の一つであることから、施策目的を測る代表的な指標として「福祉施設から一般就労への移行者数」をKPIに設定しています。福祉施設から一般就労へ移行後に戻ったり辞めたりした人等については、把握できていませんので、いただいたご意見を参考に、今後、実態把握に努めます。
33	(6)暮らしを支えるセーフティネットの構築 「ひきこもり状態にある期間が長期化」とあるが、実態は把握しているのか。	平成30年度の内閣府による調査から、当市においても、ひきこもり状態が長期化している方が相当数おられるものと理解しています。相談窓口に来談される方の状況においても、同様の傾向を把握しています。引き続き、相談業務を通じて実態把握に努めます。
34	(6)暮らしを支えるセーフティネットの構築 ①生活困窮者への重層的な支援 生活困窮者の中にヤングケアラーは含まれているのか。	ご意見のとおり、生活困窮に至る背景にはヤングケアラーを含め、障害や傷病、失業、家族の介護など様々な事情があると認識しています。 関係機関とも連携し、個々の状況や課題に応じた重層的な支援に取り組めます。
35	(6)暮らしを支えるセーフティネットの構築 ④ひきこもりへの取組 「ひきこもりに対する正しい理解」とは何か。	ひきこもりに対する偏見をなくし、ひきこもり状態にある方や家族はそれぞれ異なる経緯や事情を抱え、生きづらさと孤立の中にあることを理解し、あらゆる人が孤立することなく、ともに暮らしていけることをめざすものと考えています。
36	(6)暮らしを支えるセーフティネットの構築 ⑤依存症対策の強化 依存症専門医療機関は堺市内にあるか。	アルコール健康障害の専門医療機関として、医療法人以和貴会 金岡中央病院（堺市北区中村町450番地）があります。
37	(7)生涯にわたる多彩なスポーティブライフの実現 「すべての人が生涯にわたり」とあるが、障害児者やスポーツが苦手な人なども含まれるのか。	国は、「人生100年時代」を迎え、心身ともに健康で活躍するためには、継続的なスポーツ・運動の実施を推奨しています。 本市では、年齢や性別、国籍、障害の有無にかかわらず、すべての人が生涯にわたりスポーツを身近なものとして親しむことができ、豊かで健やかな生活を過ごせる地域社会の実現をめざし、障害児や障害者、スポーツが苦手な人なども気軽にスポーツを親しめるようライフスタイルに応じたスポーツ実施機会を提供します。
38	(7)生涯にわたる多彩なスポーティブライフの実現 ②気軽にできるスポーツの機会創出	総合型地域スポーツクラブは、身近に様々なスポーツに親しむことができるものであり、現在堺市には3つのクラブがあります。

堺市基本計画 2025(案)についてのご意見の要旨と本市の考え方

番号	ご意見の要旨	市の考え方
	「総合型地域スポーツクラブ創設や指導者の育成、加入者増加を支援する。」のであれば、通うためのバス料金や駐車料金なども安く使いやすくしてもらいたい。	堺市では、toto 助成金の申請や講師派遣等の支援を行っています。また、クラブの課題の一つである活動拠点の確保についても、小学校や中学校などの地域における身近な施設の活用や、市内の体育館等の公共スポーツ施設を優先的に利用できる仕組みについて検討を進めています。今後も、地域住民に開かれたクラブの創設・運営をめざして各クラブと連携します。 利用料金についても、地域の皆様が参加しやすい利用料金のあり方について、各クラブと検討を行っていきます。
39	たばこ対策（禁煙推進、受動喫煙の危害ゼロ）を重点目標の一つに据えるべきではないか。	健康寿命の延伸に向け、禁煙と受動喫煙防止のみならず、健康の増進を形成する基本的要素である栄養・食生活、身体活動・運動、こころの健康、アルコール、歯と口の健康について、よりよい生活習慣の形成が重要であると考えており、たばこ対策のみを重点目標に据えることは考えていません。 しかし、ご意見のとおり、禁煙と受動喫煙防止は、がん、循環器疾患、呼吸器疾患等に共通した主要なリスク要因であり、健康増進の観点からも重要であることから、堺市 SDGs 未来都市計画（2021～2023）の主な取組として掲げ、たばこの危険性の啓発や受動喫煙防止対策の推進に取り組みます。
重点戦略 3.将来に希望が持てる子育て・教育～Children's future～		
40	(1) 妊娠から学齢期まで切れめのない子育て支援の充実 妊婦健診を受けない人が増えている。受けるメリットを示し、出産後も孤立しないようにしてもらいたい。	本市では、母子健康手帳交付時に全ての方を対象に保健師が面接を行うことで、支援を要する妊婦を早期に把握し、妊娠期から子育て期まで継続的な支援を行っております。また、妊娠中は、分娩機関と連携して定期的な妊婦健康診査の受診を支援すると同時に、産後の子育てに向けた準備を支援しています。引き続き、安心して生み育てられる環境形成に取り組みます。
41	(1)妊娠から学齢期まで切れめのない子育て支援の充実 ③学齢期・青少年期の子ども・若者と家庭への支援 「不公平感がない満足度の高い取組」について、何が公平で不公平なのかの理解が必要ではないか。 「サードプレイス」以外にフォースもフィフスも必要。	放課後児童対策等事業については、いずれの学校や地域においても子育てと就労を両立でき、また、子どもの特性に違いがあっても、すべての利用者が満足できるように不公平感のない取組を進めます。 また、ここでの「サードプレイス」は、家庭（ファーストプレイス）や学校（セカンドプレイス）とは別の、「子どもや若者が自分にとって居心地の良い居場所」をさしています。子ども食堂やさかい場 Cafe など、多様な居場所の整備を通じて、様々な家庭環境で暮らす子どもたちの健やかな成長を支えます。
42	児童自立支援施設は堺市に必要ではないか。	これまでの大阪府との協議の結果、児童自立支援施設に関する事務の委託を継続することで大阪府と合意しましたので、今後も引き続き、大阪府と協力しながら、対象となる子どもに必要な支援を行います。
43	(2)子どもの可能性を伸ばし未来を切り拓く力を育む教育の推進	本市では、知・徳・体にわたる生きる力をバランスよく養うことが重要であると考えていま

堺市基本計画 2025(案)についてのご意見の要旨と本市の考え方

番号	ご意見の要旨	市の考え方
	これからの時代を生き抜くために、英語・ICTができればそれでよいのか。小学校6年生の算数は政令市トップクラス、中学校3年生は政令市下位とあるが、理由を検証するべき。	す。また、「誰一人取り残さない」という理念のもと、子どもに寄り添った教育を推進します。英語・ICTに限らず、時代を担う子どもたちが、予測困難な社会にあっても明るい未来を思い描きながら、自分を見失わずに成長するための力を育成できるように取り組みます。各種調査の結果に基づく分析は、調査ごとに行い教育施策や各学校の教育活動の検証改善に更に生かしていきます。
44	(2)子どもの可能性を伸ばし未来を切り拓く力を育む教育の推進 「③健やかな心身の育成」の基本的な生活習慣に口腔ケアも入れてほしい。	就学前の保護者への啓発については、いただいたご意見を参考にさせていただきます。なお、学校においては、毎年6月の「歯と口の健康習慣」に合わせた口腔ケアの重要性を伝えるための保健教育や「保健だより」による啓発を実施しています。今後も、関係部局や学校と連携しながら、子どもたちの口腔ケアの取組を進めます。
45	(2)子どもの可能性を伸ばし未来を切り拓く力を育む教育の推進 「④特別支援教育の推進」の個々の教育的ニーズの把握も必要であるが、子どもは子どもたちの中で育つことはもっと大事ではないか。	障害のある子どもたちがその能力や可能性を最大限に伸ばし、自立し、社会参加することができるように一人ひとりの教育的ニーズをふまえた支援をします。また、障害の有無にかかわらず、すべての子どもたちがともに学ぶことができるよう、インクルーシブ教育システムの構築をめざした取組を推進します。
46	(3)多様性を尊重した教育の推進 誰でも起こりうることを理解するための精神障害を学ぶため、幼稚園、小学校や中学校での手話利用が必要ではないか。	手話利用については、市立小中学校では、児童生徒が障害を有する方と交流する機会を設けたり、キャップハンディ体験を行うなど、体験的な活動を取り入れることで障害者理解を深める取組を進めています。 すべての子どもたちが安心して、生き生きと学べる環境づくりに取り組みます。
47	(3)多様性を尊重した教育の推進 いじめ・不登校、教師からのいじめや虐待も把握してください。	「第3期未来をつくる堺教育プラン」に「『いじめは絶対に許さない』と毅然とした態度を示し、子どものSOSに気づく感度の高い人」をめざす教員像の1つに掲げています。いじめや不登校の背景には、子ども自身、学校や家庭、子どもを取り巻く環境など様々な要因が複雑に絡み合っていることから、未然防止、早期発見、早期対応のために、教員自身の人権感覚の高揚に努め、子ども理解を基盤にした指導が実践されるよう、研修などを通じて教員一人一人の資質・能力の向上を図ります。 また、体罰やハラスメント行為などの不祥事の根絶に向けても、各学校園でコンプライアンスが徹底された組織風土の醸成に取り組みます。
48	(4)安心して学べる教育環境の充実 「①信頼される教員の育成」にあるICTで業務の効率化はできても、保護者対応は教師に任されるため、改善が必要ではないか。	学校園として、校務分掌や各種行事、部活動のあり方などについて、積極的な業務改善を進めます。 また、ICT化の推進等を通して、教員の負担軽減を図り、学校における働き方改革を一層推進し、長時間勤務の是正とワーク・ライフ・バランスの充実に取り組みます。

堺市基本計画 2025(案)についてのご意見の要旨と本市の考え方

番号	ご意見の要旨	市の考え方
49	(4)安心して学べる教育環境の充実 「⑥生涯学習の推進」のリカレント教育の推進とは何か。	リカレント教育とは、一般的に社会人が職業上必要な知識・技術を習得するために、また、日常生活において教養を高めるためなど、生涯にわたり繰り返し学習することを言います。 リカレント教育を推進するため、庁内各部署をはじめ多様な主体と連携し、誰もがいくつになっても学び直し、キャリアアップができるよう、学習環境の整備に取り組みます。 ご意見を踏まえ用語解説にリカレント教育の解説を追加します。
50	小学校で導入されようとしている大阪府のすくすくテストに参加すべきではない。	大阪府新学力テスト（小学生すくすくテスト）は、小学5、6年生を対象に府内の子どもたち一人ひとりが学びの基盤となる言語能力や読解力、情報活用能力等を向上させ、これからの予測困難な社会を生き抜く力を着実につけ、その結果分析をもとに学校教育の改善・充実に取り組むことを目的に実施されるものです。 大阪府新学力テストを活用し、児童の学びの状況を把握することで、本市の学力観である「総合的な学力」の育成に向けたこれまでの教育施策の成果の把握や改善に活かし、学校においては指導の改善・充実に役立てることができると考えています。
51	中学校で実施されているチャレンジテストに参加すべきではない。	チャレンジテストについては、公立高等学校入試における評定の公平性を確保するため、大阪府統一のルールで実施されており、本市も参加しています。 また、本市では、各教科におけるチャレンジテストの結果を分析・検証し、学力向上に向け、より一層授業改善等に取り組みます。
52	小学校で秋に実施されている連合運動会は廃止すべき。6年生の秋は私立中学校の受験前でもあり、授業時間の確保を優先させてほしい。	小学校連合運動会は、堺市の全小学校6年生が参加し、平素学習した技を競い、体力を高める場として実施しています。お互いの親睦と交流を図り、友だちと協力し練習を行っていく中で、記録の達成感を味わうことができる機会を有する本市独自の歴史ある教育実践です。 社会情勢や時代の変化も踏まえ、本市の子どもたちのためにより良い取組にするように、いただいたご意見は参考とさせていただきます。
53	小学校で秋に実施されている連合音楽会は、参加が全小学生ではなく、一部の小学生に限られており、廃止すべき。	堺市連合音楽会は、平素の音楽活動で身に付けた表現力を発表するとともに、音楽を鑑賞することを通して、児童生徒の音楽性、表現力、感性を培い、豊かな情操を養うことにつながっている本市独自の歴史ある教育実践です。 社会情勢や時代の変化も踏まえ、本市の子どもたちのためにより良い取組にするように、いただいたご意見は参考とさせていただきます。
54	中学校で秋に実施されている堺市連合音楽会は、学校によってクラスや部活動での参加であったり、参加する時間も出演時間のみの学校もあり、廃止すべき。	堺市連合音楽会は、平素の音楽活動で身に付けた表現力を発表するとともに、音楽を鑑賞することを通して、児童生徒の音楽性、表現力、感性を培い、豊かな情操を養うことにつながっている本市独自の歴史ある教育実践です。 社会情勢や時代の変化も踏まえ、本市の子ども

堺市基本計画 2025(案)についてのご意見の要旨と本市の考え方

番号	ご意見の要旨	市の考え方
		もたちのためにより良い取組にするように、いただいたご意見は参考とさせていただきます。
55	中学校で2学期早々に実施されている堺市総合体育大会は、廃止すべき。3年生は夏休み以降、受験勉強にシフトしており、2学期早々に授業時間を大幅にカットしてまで行うことではない。	堺市総合体育大会は本市独自の歴史ある大会であり、堺市内中学校の運動部に所属する生徒が、夢と誇りをもって、自己の力の確認、努力による達成感、充実感をもたらず場です。 日程については、長期休業前ならびに長期休業中は近畿大会、全国大会の予選等があり、現在の日程になっております。社会情勢や時代の変化も踏まえ、本市の子どもたちのためにより良い取組にするように、いただいたご意見は参考とさせていただきます。
56	各区に支援学校を設置して、区単位で障害児教育と福祉を連携してほしい。	支援学校に配置している特別支援教育コーディネーターが窓口となって関係機関との連携を行っており、今後も、各関係機関とのスムーズな連携ができるよう特別支援教育コーディネーターの専門性の向上に努めます。
57	各区の中学校に通級指導教室を設置してほしい。	通級指導教委室については、利用状況等を把握し、国に対し、設置の増加を要望します。
58	老朽化した百舌鳥支援学校の移転計画を作成してほしい。	子どもたちが安心して、落ち着いて学習に取り組むことができるよう、教育環境の向上に努めます。いただいたご意見は参考にさせていただきます。
59	羽曳野支援学校の院内学級や府立堺支援学校を活用し、百舌鳥支援学校分校の廃校計画を作成してほしい。	子どもたちが安心して、落ち着いて学習に取り組むことができるよう、教育環境の向上に努めます。いただいたご意見は参考にさせていただきます。
60	堺市立堺高校について、府への移管計画を作成してほしい。	市立堺高校の可能性を最大限発揮して、より魅力的な高校となるように取組を進めます。いただいたご意見は参考にさせていただきます。
61	教職員の確保のため、60歳定年制から65歳定年制への変更計画を作成し、子どもたちに寄り添える学校を作してほしい。	教職員の定年延長については、今後の国の動向を注視していきます。
62	ひとり親家庭にだけ支援をするのではなく、子育て世帯全体を踏まえた支援を考えてください。	本計画では、重点戦略として「将来に希望が持てる子育て・教育」を掲げており、すべての家庭が安心して子どもを生み育てられる環境形成をめざし、子育て支援の充実に取り組めます。
63	(5)厳しい環境にある子どもと家庭への支援の充実 ひとり親家庭だけでなく、ヤングケアラーへの支援も必要ではないか。	きょうだいや親の面倒をみていたり、家事を担っていたりするヤングケアラーは、学校からの情報を契機として要保護児童に登録される割合が高く、学校生活にも影響が出ているケースが多いと考えています。 このため、学校をはじめ、関係機関が緊密に連携して、実態把握に努め、介護保険サービス等に関する情報を提供するなど、適切な福祉サービスを受けられるよう支援します。
64	出産後、定期的に訪問し、育児の不安や産後鬱などに対応する人員を増やしてほしい。	本市では、生後4か月までの乳児がいる全ての家庭を保健師や助産師、地域の保育施設の保育士等が訪問し、子育ての相談に応じたり保護者の心身の状況や養育環境の把握などを行っています。引き続き、安心して生み育てられる環境形成に取り組めます。

堺市基本計画 2025(案)についてのご意見の要旨と本市の考え方

番号	ご意見の要旨	市の考え方
65	保育士の待遇をよくしてほしい。	本市では、国の基準を上回る職員配置や、保育士の業務負担の軽減、就業の継続、保育の質的な向上などを図るため各施設に対して補助を行っています。今後も、保育士などの職員が安心して働き続けることができる環境形成に取り組めます。
66	小中学校は、30人学級で、常に補助教員を配置してほしい。	少人数学級実現のためには、教員の確保や教室の確保など、様々な課題があります。国の動向を注視しながら本市の状況に即して計画性をもって取り組めます。また、国に対し引き続き加配教員の配置を要望します。
67	子どもが高校生になるまでは、親の経済状態など生活に支障がないように、市で相談に応じて支援してほしい。	本市では、子どもの生まれ育った環境によって左右されることなく、貧困の連鎖を生み出さない社会の実現をめざし、教育、生活、保護者の就労、経済面の支援に取り組んでおり、引き続き、庁内外の支援機関と連携した取組を推進します。
68	殺処分を無くすため、犬猫の不妊手術費用は、全頭数、補助してほしい。	殺処分を無くすため、犬猫の所有者などが終生飼育を含む適正な飼育をすることが重要です。動物の愛護及び管理に関する法律第7条には動物の所有者又は占有者の責務として、適切な管理をするため繁殖制限についての記載がされています。 本市では、野良猫の被害を抑制し、野良猫を増やさないための地域住民の活動である地域猫活動に不妊手術費用の一部助成を行っており、今後もこの活動への支援を広げていきたいと考えています。 また、市で収容した犬猫には新しい飼い主を探し、命をつなげられるよう努めます。
69	野良猫専門の不妊手術をする所が出来るように、市からも募集、補助をしてほしい。	市内では80か所を超える動物病院があり、一部の病院では野良猫に対する不妊手術を行っています。 野良猫の不妊手術専門病院の開業には、経営判断等が必要であることなどから、現在、本市では、野良猫の不妊手術専門の病院の誘致等について検討しておりません。
70	市による動物の譲渡会や、保護活動ボランティアへの支援をしてほしい。	市では収容した犬猫を早く次の飼主に譲渡できるように、飼主になってもらえる方を事前に募集し、収容した犬猫を紹介する譲渡登録制度を実施しています。 この制度では、日を決めて譲渡会を頻繁に行うよりも、随時、譲渡を進められるメリットがあります。更に当市の制度を知っていただき、収容動物についても紹介を進めていくなど、今後もより良い方法を検討し、進めていきたいと考えています。 また、ボランティアの皆さんとの連携については、今後も検討を進めます。
重点戦略4.人や企業を惹きつける都市魅力 ～Attractive～		
71	(5)泉北ニュータウンの新たな価値の創造、(7)次世代につなげる農業の促進、(8)女性活躍・働く意欲がある多様な人材の活躍に障	(5) 泉北ニュータウンの新たな価値の創造では、障害のある方も含め、全ての住民が、安心して暮らし続けることができる地域をめざして

堺市基本計画 2025(案)についてのご意見の要旨と本市の考え方

番号	ご意見の要旨	市の考え方
	害者も入っているのか。	います。 (7) 次世代につなげる農業の促進では、障害者による農作業や農業参入の取組を進めます。 (8) 女性活躍・働く意欲がある多様な人材の活躍とは、障害者、若年者、高齢者、外国人など働く意欲がある多様な人材の活躍ということであり、これらの多様な人材が活躍できる社会の実現に向けて取り組みます。
72	(2) 市政への信頼獲得、ブランド力の向上に向けた戦略的広報の展開 ③ ステークホルダー対応、公民連携推進に向けたシティプロモーションの強化 ステークホルダー対応とは何か。	この取組の「ステークホルダー」とは、企業誘致や観光誘客に関係する人々ということであり、この方々に対応したシティプロモーションを強化していきます。なお、分かりにくい表現であるため、「ステークホルダー対応、」及び「ステークホルダーである」を削除します。
73	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築 大阪メトロと北大阪急行との合併等を打診し、運賃値下げを実現し、北大阪を含めた交通ネットワークの再構築を計画化してほしい。	複数の鉄道路線が相互乗り入れしている事例は多数あり、相互乗り入れしていない乗り継ぎと同じく、どの路線についても初乗り運賃が適用されることが、国が認める運賃制度の考え方です。 加えて、相互乗り入れをしていることを事由に、鉄道事業者が経営統合されるというものではないため、北大阪を含めた交通ネットワークの再構築の計画化は、現在、予定しておりません。
74	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築 LRT 構想を計画化しないでほしい。	本市の経済発展の中心である都心エリアの魅力向上に向け、回遊性や利便性を高め、エリア全体の活性化につなげていくため、エリアをつなぐ新たな交通システムの導入に向けて取り組みます。
75	(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築 阪堺電車への市税投入は中止し、民営化された大阪シティバスを堺市への運行を許可し、南海バスとの競合による相互的な発展を計画化してほしい。	本市では令和2年9月末に10年間の阪堺線への支援を完了し、以降は国との協調補助及びおでかけ応援制度による高齢者運賃割引の負担金を拠出しています。 バス路線については、国の許可を受けて運行しているものであり、ご意見の計画化の予定はありません。
76	(3) 人が集う魅力的な都心エリアの形成と新たな交通システムの確立 東西交通の整備は、民間鉄道会社でさえも採算が期待できず名乗りを上げない状況で、LRTの導入や市税投入はするべきでない。	本市の経済発展の中心である都心エリアの魅力向上に向け、回遊性や利便性を高め、エリア全体の活性化につなげていくため、エリアをつなぐ新たな交通システムの導入に向けて取り組みます。
77	(5) 泉北ニュータウンの新たな価値の創造 泉北ニュータウンの発展のために、泉北高速鉄道の運賃値下げに向け、泉北高速鉄道と南海電鉄との合併交渉等の打診を基本計画に盛り込んでもらいたい。	泉北高速鉄道と南海電鉄の合併については、民間企業による経営判断に基づくものであることから、基本計画に盛り込む予定はありません。
78	デジタル化事業について外部発注する場合、大企業が多く受注し、市内の中小企業が応札していない状況が見受けられる。業務を細分化し、市内のIT企業も入札に参加できるようにしてもらいたい。	本市が発注する物品調達及び業務委託においては、市内経済の活性化及び市内業者の育成を図る観点から、入札参加要件について、競争性の確保を前提として市内の事業者に限定するほか、必要に応じて案件を分割するなど、地元中小事業者の受注に配慮した発注を行うこととし

堺市基本計画 2025(案)についてのご意見の要旨と本市の考え方

番号	ご意見の要旨	市の考え方
		ています。
79	大阪市と隣接した立地ポテンシャルを目に見える形でアピールして元気な堺市になるよう頑張ってもらいたい。	重点戦略4「人や企業を惹きつける都市魅力」(4) 成長産業や新事業を生み出すイノベーションの創出や(6) 民間投資の戦略的な誘導で示す取組など、元気な堺市となるよう、市内経済の活性化に向けた取組を進めます。
重点戦略5.強くしなやかな都市基盤 ～Resilient～		
80	(1)自助・共助・公助のバランスのとれた防災・減災力の向上 ⑤地域防災力の向上 障害者は自助ができず、共助にもケアの方法が分からないため限界があります。公助が不可欠であることを認識し、計画を進めてもらいたい。	いただいたご意見も参考にしながら、公助の取組を着実に進めるとともに、自助、共助、公助、それぞれが補完し合うバランスの取れた防災・減災対策を進めます。
81	(1)自助・共助・公助のバランスのとれた防災・減災力の向上 ⑥自立分散型電源の導入推進 人工呼吸器を利用している者にとって停電は命に関わります。コロナ禍でエタノールを配布してもらったが、優先的に供給してもらいたい。	南海トラフ巨大地震などの大規模災害が発生した際の応急活動においては、市民一人ひとりが自らの命を自ら守る自助と隣近所や地域の皆さままでお互いに助け合う共助と行政が行う公助の適切な役割分担と連携が重要となります。 いただいたご意見も参考にしながら、公助の取組を着実に進めるとともに、市民の皆さまの自助、共助の理解や取組を推進します。
82	(2)都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築 ⑤生活基盤としての公共交通の維持確保 鉄道駅やバス停から離れた公共交通空白地域、特に美原区の視覚障害者向けのタクシーチケットを増やすなど対策をしてもらいたい。	本市では、重度障害者(児)の社会参加を促進するため、対象者に対し、重度障害者福祉タクシー利用券を交付し、利用料金の一部を助成しています。 現在のところ交付枚数を増加する予定はありませんが、鉄道やバスを利用しにくい地域、いわゆる公共交通空白地域にお住まいの方の日常の移動手段を確保するため、美原区も含めこうした地域と最寄りの鉄道駅を結ぶ9ルートにて乗合タクシーを運行しています。また、障害者の方は障害者手帳等のご提示により、バス介護付の証明を受けている方に同伴する介護人の方についても1名まで通常料金の半額でご利用できます。
83	(2)都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築 ⑤生活基盤としての公共交通の維持確保 おでかけ応援バスを視覚障害者にも広げてほしい。	おでかけ応援制度は、高齢者の社会参加と健康増進を促し、また公共交通機関の利用促進による維持確保を図ることを目的とした制度です。 なお、身体障害者手帳または療育手帳をお持ちの方に対しては、JRや私鉄各社において、旅客運賃の割引制度を設けています。バスにつきましても、バス会社によって適用が異なる場合がありますが、普通乗車券が5割引、定期乗車券が3割引となるなどの割引制度がありますので、現行の割引制度の利用をお願いします。 また、介護者についても、障害者児本人の障害の程度によって、割引が受けられる場合がありますので、詳しくは各交通機関にお問い合わせください。 今後も、障害のある方々のご意見などを参考にしながら、社会参加の促進を図る観点から障

堺市基本計画 2025(案)についてのご意見の要旨と本市の考え方

番号	ご意見の要旨	市の考え方
		害者に対する取組を検討します。
84	安全な道路環境や歩きやすい歩道を整備してほしい。	通学路などの安全・安心な歩行空間の確保に向け、(2) 都市インフラや公共施設の最適化・老朽化対策と交通ネットワークの構築で示す取組を関係機関と連携して進めます。
(参考) 策定経過		
85	懇話会委員の中に、障害者、手話、ヤングケアラー、口腔崩壊に通じた人はいるのか。	ご意見の専門分野の委員は選定しておりませんが、各委員から様々なご意見を賜りながら本計画を策定しています。
(参考) 用語解説		
86	市民の高齢者の割合が増えている中、難しい言葉が多いのではないかと。	計画の策定にあたっては、できるだけ平易で分かりやすい表現を心掛けています。また、英語やカタカナ語表記などの用語は、用語解説で意味を解説するようしており、パブリックコメントで意味が難しいとご意見をいただいた用語も修正や用語解説に追記します。